岡山日赤病院の初動期の活動

災害拠点病院として何をすべきかを学んだ5日間

岡山赤十字病院　救急科
有嶋拓郎

2026.10.25　百花プラザ

活動チーム概要

- 有嶋拓郎（リーダー　統括DMAT　救急科部長）
- 藤原照美（看護師　手術室師長）
- 権代麻梨子（看護師　主任）
- 西原猛（調整員　救命士係長）



活動期間と活動場所

7月30日（木）6：30出発式　往路　済生会熊本病院での夕の全体会議に出席

7月31日（金）熊本大学病での病院支援

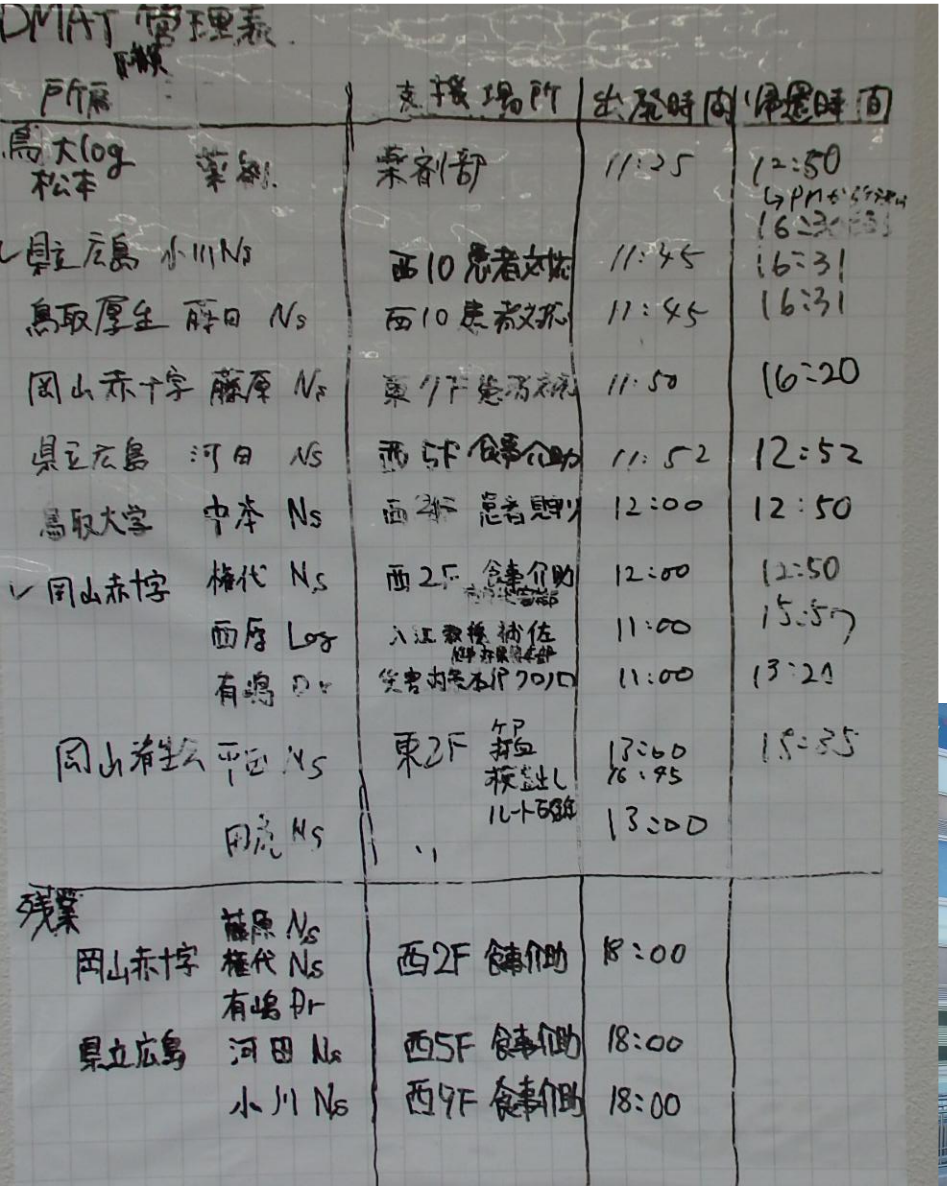
8月1日（月）済生会熊本病院（活拠）で本部の活動支援班に配属

8月2日（火）活動拠点本部活動支援班に配属

8月3日（水）午前　活動拠点本部の活動支援班の引継ぎ　午後DMATカーを日赤熊本県支部に置いて新幹線にて岡山で移動18：30　帰任式。

活動内容（１）DMAT病院支援指揮所

熊本大学病院
７月３１日


DMAT管理表

所属		支援場所	出発時間	帰還時間
鳥大Log 松本	薬剤	薬剤部	11:25	12:50 →PMから 16:30
県立広島	小川Ns	西10 患者対応	11:45	16:31
鳥取厚生	藤田 Ns	西10 患者対応	11:45	16:31
岡山赤十字	藤原 Ns	東1F 患者搬送補助	11:50	16:20
県立広島	河田 Ns	西5F 食事介助	11:52	12:52
鳥取大学	中本 Ns	西2F 患者搬送	12:00	12:50
岡山赤十字	権代 Ns	西2F 食事介助	12:00	12:50
	西原 Log	入江 救護 統括	11:00	15:57
	有嶋 Dr	災害拠点病院フロント	11:00	13:21
岡山済生会	平田 Ns	東2F ケア 打血 抜針し ルート固定	13:00 16:45	15:55
	田尻 Ns	〃	13:00	
残業				
岡山赤十字	藤原 Ns 権代 Ns 有嶋 Dr	西2F 食事介助	18:00	
県立広島	河田 Ns	西5F 食事介助	18:00	
	小川 Ns	西7F 食事介助	18:00	

災害拠点病院の助援活動の支援（転院搬送）

+受援病院としてDMATのリソースを活用していた。







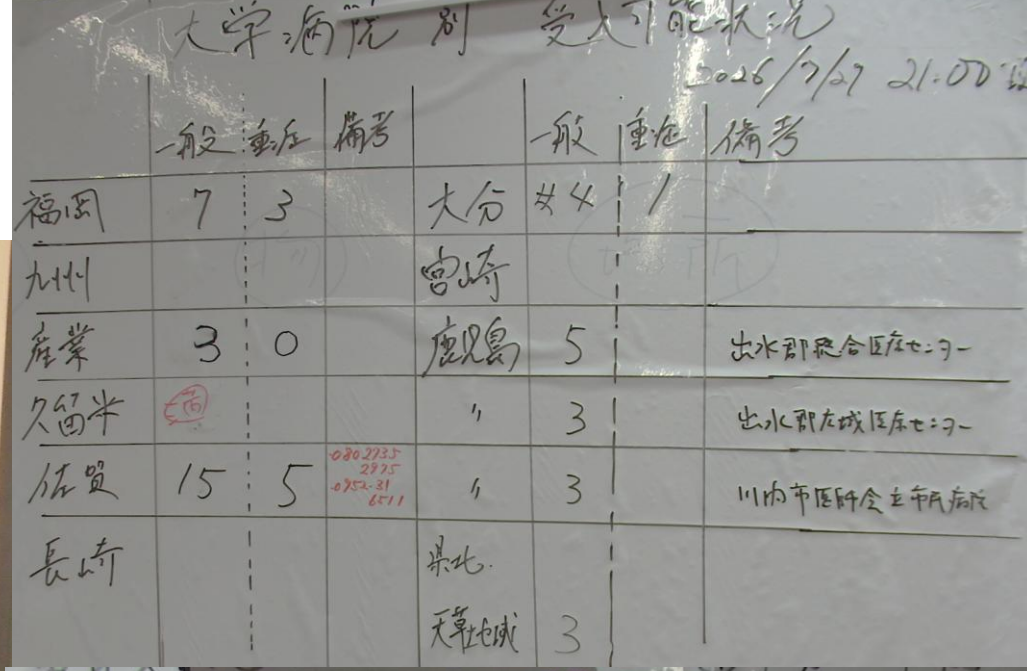
整形外科ブース

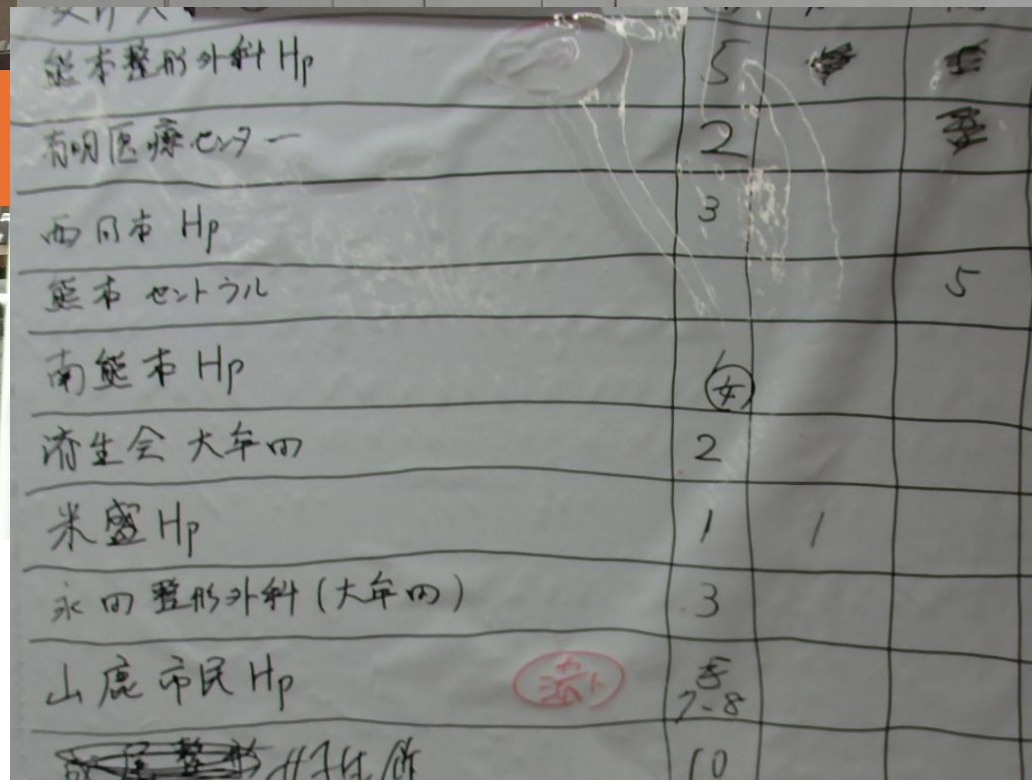


岡山済生会病院　野崎リーダー

熊本済生会病院　岡部調整員

整形外科
宮本健史教授





多くの大腿骨頸部骨折患者の手術をどこで行うかを同門の病院に電話して搬送先を決めている

県央南DMAT活動拠点本部

済生会熊本病院
8月1日～３日

活動指揮班業務



受援ニーズの把握

参集DMAT隊の把握

DMAT隊の振り分け





活動内容（２）DMAT活動拠点本部の活動指揮班

圏域の医療ニーズに合わせて、活動拠点本部に参集したDMAT隊の隊員構成、携帯車両、携帯備品などを勘案して、各隊を差配する調整部門

１）必要DMAT数の算定・要請
２）分配方針の確定
３）登録および活動指示
４）追加、引継ぎ資源量の確定と要請
５）病院支援や施設支援の夜勤シフト配置

6：30　朝食
7：00　ホテル出発
8：00　全体会議
8：30　活動指揮班
21：00　散会
21：30　ホテル着

活動拠点本部の業務　気づき

- 調整の業務であり、気配りが必要（身体より神経を使う）
- 各自PC持参が必須
- 活動拠点本部は、できるだけ広い平面の部屋が必要
- DMAT待機室の工夫
- DMATカー内の荷物の置き場

日赤病院の今後するべきこと

- DMAT参集を想定して部屋割り、駐車場割を決めておく（標識）

- 災害の規模に応じて２通りくらいの拠点病院設営プランを作っておく

- 受援病院の側面　自院の病院機能維持のためにDMATに手伝ってもらうことを決めておく